



医療法人社団翔友会グループは 持続可能な開発目標(SDGs)に積極的に取り組み、 サステナビリティを目指し運営しています

翔友会グループは、美容医療を中心にレーシック眼科・うつ、ストレス治療・歯科の自由診療分野で一貫して患者さまの QOL 向上を追求した医療を提供しています。品川美容外科、品川スキンクリニック、品川近視クリニックをはじめ全国に50クリニックを有し、各院の機能充実・専門化を進め、質が高く切れ目のないオーダーメイド医療を提供しています。

1988 年開業以来「いつでもどこでもだれでも最高の医療が受けられる」を基本理念とし、患者さまに寄り添い、どこでも、だれでも安心して医療を受けていただけるよう、スタッフ一同、誠意の医療を心がけ、持続するサステナビリティ経営に取り組んでいます。翔友会グループでは、持続可能な開発目標(SDGs)17 項目のうち 10 項目に対応し、翔友会 SDGs 基本方針に沿って具体的な取り組みを継続して行っています。

翔友会 SDGs基本方針

- 求められる医療を、より安全に、より安心に、
- 何人もどこでも平等に医療が受けられる診療所の運営、医療機器、施設の充実
- 地域救急医療機関と連携した医療の提供
- 医療人としての自覚と技術向上へのたゆまぬ研鑽、教育
- 高度な医療を継続提供させるための健全経営

求められる医療、より安全に、より安心に、

自費診療医療グループとして

翔友会グループは、日本全国に 50※のクリニックの運営を通し、自費診療分野に特化した医療を提供する医療グループです。職員数 2,050 名（令和 6 年 12 月現在）。

品川美容外科をはじめ各院それぞれ専門化を進め、地域においては医療連携先病院と連携して安心安全、質が高く、満足度の高い医療を提供しています。

「愛し愛される翔友会」を基本目標とし、患者さまに寄り添い、安心して医療を受けていただけるようスタッフ一丸となって最先端の医療の提供を心がけています。

※翔友会グループ一覧はこちら

安心・安全な医療を何人も平等に受けられる



年間 120 万名の患者さまを受け入れています

翔友会グループ全体で年間約 120 万名の患者さまを受け入れています。

年中無休 365 日、患者さまの“こんな自分になりたい”という希望を受け止め、患者さま中心に動き、受け入れて、オーダーメイド診療を提供しています。幅広い知識と国内屈指の症例と経験を活かし、あらゆるご希望に寄り添い、的確な医療を提供し、患者さまの願いを叶えています。

安全・安心への取り組み

翔友会では、グループ全体が質の高い、均質の安全・安心体制を構築するために、全クリニック・職種において共通で推進できる医療安全体制と、各施設・職種でそれぞれ管理する医療安全管理体制をマトリックスで推進しています。



うつ患者への優しい治療への取り組み

翔友会では、現代病と言われて久しいうつ病患者が増加している現状を改善すべく、薬剤投与に頼らない磁気を応用した TMS 治療を 2013 年我が国でいち早く導入し、ひとりでも多くの方に社会復帰していただけるよう取り組んでいます。

地域に貢献

翔友会グループは、クリニックを開設する地域において、求められる自由診療分野の医療をより安全に、かつ安定的に継続して提供することを実践してきました。

1988 年創業以来 36 年間、それぞれの地域の皆さまの信頼に応えるために誠実に歩みを進めてきており、クリニック内装・設備や医療機器などの充実、および看護師はじめ多職種、人材の教育・育成に力を入れています。

地域から信頼されるクリニックであり続けるために、2021 年は延べ 7000 人にコロナワクチン接種を行いました。

常に患者さまに寄り添い、生の声、ご意見を大事にし、安心して医療を受けていただけるよう、医師以下全職員で取り組んでいます。



職場復帰を支援

医師・歯科医師・看護師・薬剤師・臨床工学技士・歯科衛生士・検査技師・事務職員などすべての職員が各科、各院それぞれチームで取り組んでいます。

産休・育休制度の充実はもちろん、いつでも働きたいときに、働きたいクリニックで、職に復帰できるよう研修体制を充実させています。



パートナーシップで支援

地域医療連携とは、地域内の医療機関がそれぞれの施設の機能に応じて分担や専門化を進め、密接に連携して医療サービスを患者さまへの最適な医療を提供していくシステムです。

翔友会グループは、「愛し愛される翔友会」をモットーに、自費診療部門の充実を目指した医療を心がけてきました。大学病院はじめ地域医療連携に加わり、皆さまのニーズに応え、安心・安全な医療を継続して提供していきます。

医療人としての自覚と技術向上への教育



教育制度

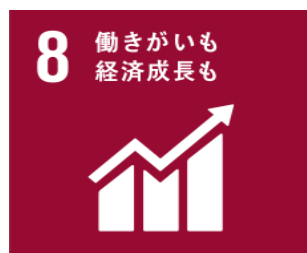
翔友会グループは、「人が組織を作る」という考えに基づき人財育成に特に力を入れており、自由診療医療グループとして独自の教育、研修制度が充実しています。

一方で、現場力を重視し、グループ共通の教育制度と職種別教育制度を組み合わせ、学会発表・研修・講義・実習からOJTまでを体系化し、一人ひとりが各職種のプロフェッショナルとして、組織人として成長するように、また多職種連携でチーム医療が実践できる人財を育てています。これにより、質の高い医療サービスを継続して提供してまいります。

- 教育、研修の基本は現場力
- 社会人としての基礎力・マネジメント力
- リーダーシップ力の向上
- 医療グループとしての学びの場は広く、豊富

人事制度

翔友会グループは、女性の比率が90%です。男女等しくキャリアアップの機会を得られる評価や昇格制度が実践されています。ジェンダーに対して配慮した労務環境を提供しています。



働き方改革/ジョブチャレンジ

ジョブチャレンジなどキャリアアップを求めている部署異動や全国転勤願いを申し出る仕組みがあります。労働時間の縮減、時短勤務など従業員がやりがいをもって働ける労働環境を提供しています。こうした取り組みによって患者さまに提供する医療サービスの質の向上と業務範囲の拡大、事業量の拡大を図り、持続可能な成長や働きがいのある雇用の創出を促進するための積極的経営を推進しています。



国際医療協力・人材育成事業

翔友会グループの活動はグローバルに広がっています。

フィリピンでのクリニック共同事業や、学術交流・医療技術支援による医療人材の研修受け入れ等を積極的に推進しています。

世界有数の症例数を持つ分野などで、近隣諸国を中心に海外からの医師や医療従事者を受け入れて、技術を世界に広めるべく取り組んでいます。

高度な医療を継続提供するための健全経営

高度な医療の提供

美容医療・全クリニックにおいて再生医療分野の皮膚再生、創傷治癒治療を提供し、メンタルクリニックにおいて TMS を用いたうつ病治療に多くの実績を持ちます。

• PRP 再生医療

品川美容外科・品川スキンクリニック全院において平成 26 年より、PRP を用いた皮膚再生、創傷治癒に取り組んでいて、再生医療法に基づいた施術で多くの実績を持ちます。

• 線維芽細胞培養術

品川美容外科品川本院・東京ペインクリニックにおいて、培養細胞を用いた皮膚再生に取り組んでいます。

• 上清液療法療法

美容各院・東京ペインクリニックにおいて、細胞培養時に産出する上清液を用いた鎮痛、炎症治療に取り組んでいます。

• うつ病改善に実績を重ねる TMS 治療

品川メンタルクリニックにおいて、薬物治療に頼らない TMS を用いたうつ病治療に取り組んでいます。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



最新医療機器の導入

日進月歩の医療機器イノベーションのさらなる促進を図るため医療機器研究開発、AI を活用した医療・手術支援にロボット技術等を活用した医療サービスの研究、開発に取り組んでいます。

再生医療一翔友会細胞培養加工施設(CPC)

従来の方法では痛みや長期治療が懸念されてきた治療の現場において、患者さまの QOL(生活の質)を改善することを目指した医療技術である再生医療分野では、主に「自家幹細胞」「自己血」が使用されており、副作用リスクの小さい治療を提供しています。

iPS 細胞に代表されるこの分野では研究が急速に進み、新しい再生医療技術が日々開発されています。

私達は、常に最新情報収集、研究、研鑽を怠らず、社会に貢献できる新技術に取り組んでいます。



自施設内にある“細胞培養加工施設 翔友会 CPC”

自分の細胞を1億倍に培養して、さまざまな「改善」がもたらされる再生医療に取り組んでいます。また、血液中にある PRP を加工して活性化させる治療は、美容医療では珍しくなくなってきました。



公正/平等な人事制度

翔友会には、5つの外国籍の職員が在籍しています。雇用や処遇、評価などあらゆる人事制度や取り組みがすべての人々に公正で平等な設計と運用を行っています。

また、翔友会では障がい者雇用を積極的に行っており、30名の仲間が働いています。

これは、国連の掲げる「人や国の不平等をなくそう」という SDGS 項目への貢献ともなります。

採用に当たっては、年齢・性別・身体的障害に関わらず、一切の差別や偏見を無くし、全ての方へ等しく機会を提供しております。



コンプライアンス遵守

これからも医療グループとしての社会的責任を果たしていきます。そのために各種法令を踏まえたコンプライアンス遵守およびガバナンス体制の整備を推進しています。